
【概 論】

医療技術開発の動向と将来展望

科学技術振興機構 研究開発戦略センター

フェロー 辻 真博 (つじ まさひろ)

勤務先：

国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) 研究開発戦略センター (CRDS)
ライフサイエンス・臨床医学ユニット

学歴・職歴：

2004年3月 東京大学農学部 卒業
2004年4月 科学技術振興機構 (JST) 入構
2009年4月 同 研究開発戦略センター (CRDS) ライフサイエンス臨床医学ユニット
現在に至る

専門分野：

ライフサイエンス・健康医療研究全般の調査・分析、および政策提言・施策化支援

要 旨

20世紀後半以降のライフサイエンス研究の急速な進展が、今日に至る医療産業の発展の原動力となっていることは論を待たない。本講演では、それらライフサイエンス研究の最先端で進められている、様々な動向をご紹介する。また、最先端ライフサイエンスの知見を最大限に活用した、多様なモダリティの試行錯誤が世界中で現在も進められており、それらモダリティ全体の動向について、医薬品を中心としつつ、その背景にあるライフサイエンス研究も含めて申し上げたい。

国家プロジェクトの観点から、わが国は「再生医療」への戦略的な重点化が進められており、諸外国でも国家プロジェクトとして一定の動きが見られていた。しかし、諸外国では「再生医療」の動きは縮小し、新たな方向へ向かいつつある。わが国の「再生医療」も、大きな転換点に来ているのではないかと個人的に考えている。本講演では、海外の政府系ファンディング動向の詳細解析の結果見えてきた新たな方向性についても紹介したい。

参考資料

1. 平成 31 年 3 月刊行『次世代医薬・基盤技術の動向と展望、推進すべき研究開発戦略～①創薬プロセスの革新（ゲノム編集等）／②既存モダリティの洗練（低～高分子医薬等）／③新規モダリティの挑戦（免疫細胞医薬等）
(<https://www.jst.go.jp/crds/pdf/2018/WR/CRDS-FY2018-WR-12.pdf>)
2. 令和 2 年 4 月刊行予定 『デザイン細胞 ～再生・細胞医療・遺伝子治療の挑戦～』
下記 URL に、令和 2 年 4 月末を目処に公開予定
(<https://www.jst.go.jp/crds/report/report01/index.html>)